

上志段味学区区政協力委員会（5月定例会）

5月9日（月）に守山区役所で開催された守山区区政協力委員協議会（5月定例会）における盛りだくさんの報告事項、議題などの中から、この地区に関係するものを中心に報告します。併せて、新中学校開校に向けての関係者の初顔合わせが行われ、そのことについても触れておきます。

1 日本赤十字社会費（社費）増強運動の実施について

見出しのことについて、日赤から協力依頼がありました。昨年度に引き続き、令和4年度予算にもあるように上志段味自治会から一括して払い込むことで、協力をしていきたいと思います。各地区の自治会にあっては、特に募金・集金活動等は必要ありません。

2 名古屋市宿泊施設避難助成金制度について

災害発生時に、指定された避難施設に宿泊することに対し、宿泊費の2分の1（上限5,000円）の助成を行うもので、上志段味学区の世帯は、この制度の対象となっていますが、事前に認定を受ける必要があります。ただ、指定された施設は守山区内では3か所しかないため、その運用は難しいかもしれません。

3 参議院議員通常選挙における投票管理者等の推薦

7月10日（日）の予定で準備が進められている選挙に対して、投票所の投票管理者1名、投票立会人2名の推薦依頼がありました。いずれも投票当日は長時間拘束をされますが、立ち合いをするだけで特段の業務はありません。どなたかお手伝いをお願いします。

4 コロナ禍における地域活動支援事業について

コロナの影響もあり、自治会活動等も低迷をしており、また担い手の不足等もあり、行政サイドも危機感を持っているようです。今回、全学区に対して地域活動の現状などについてヒアリングを実施することに。ヒアリングシートの提出の後、その中から幾つかの学区を選び、さらに詳細ヒアリングを実施予定。

様々な工夫をして頑張っている自治会の好事例等を取り上げた事例集などを作成し、各学区に配付していきたい。

5 民生委員の一斉改選について

3年に一度の一斉改選の年になっており、その準備を進め行くこととなります。新しい委員の任期は12月1日から3か年となりますが、上志段味学区では定員7名のうち、現在活動をされているのが4名にとどまっています。

是非、関心をお持ちの方のご紹介をお願いします。

6 新中学校の建設

教育委員会から4名、上、中、下の志段味学区の区政委員長で、初めての顔合わせと開校準備委員会のメンバー、今後の進め方などについて意見交換を行いました。（今回は、配布資料などはなし。）6月中には、20名程度の委員会メンバーで初会合を開き、その後定期的に会合を持ちたい意向。事務局等は、志段味中学校に置く。

準備委員会の役目としては、通学区域の調整、校名、校章、制服、校歌などの検討とそれらのことについて地域への広報、意見集約等としている。

また、委員会メンバーによって、諸々の検討事項の方向性も影響されるため、要望として、次のことを強く申し入れをしました。

- ・委員会のメンバーは、上志段味、中志段味地区の関係者数を同一にする
- ・同様に、既存の組織の役職者（高齢者に偏る）を安易に選ばず、子供を持つ親の世代の人達に参加を呼び掛ける。
- ・上志段味地区は人口、特に若い世代がどんどん増えており、校舎の規模等もそのことを念頭において設計、建築をしてほしい。上志段味小学校のよう、開校1年で増築工事を始めるようなことにならないように。
- ・委員会も形式的な集まりに終わらせることなく、大いに議論ができ、また教育委員会も真摯な対応、反応をする。
- ・地域への広報などは積極的に行い、議論の状況等の周知を図る。可能なら、会費等の公開、傍聴も認めるか。

7 その他

過日5月8日（日）に開催された総代会の席上において質疑のあったことに対して、それぞれ市役所等の関係部署から、現状、今後の計画等についての聞き取りをした結果について、簡単に報告します。

質疑のあったのは、児童館の新設、志段味図書館の子供向け図書の充実、自動車図書館の増便、市街化調整区域の東谷地区に児童公園の新設、そして上志段味交差点からセンチュリーゲートへ向かう道路の先に「橋」の建設計画につ

いてでした。

話の前提として、地理的にも守山区は南北に細長く、瀬戸街道、瀬戸電沿いの市街地と志段味、吉根は全く生活圏が違ふこと、また、上志段味地区では人口が10年前の2倍に、20年前の4倍になっており、特に若い世代の流入が際立っていることはしっかりアピールしています。

ただ、いずれも担当者の一存で即答のできる問題ではなく、関係部署や他地区との調整、予算の都合、全体計画での位置づけなど越えなければならない問題は山積しているようで、こちらも、その点を理解したうえで継続的な働きかけをしていかなければならないと思います。

○ 児童館の新設

基本的に、各区に1カ所設置されており、守山区には区役所の東隣に守山児童館（築50年）があるが、区内の他地区に新設する計画は現段階ではない。小学校を利用したトワイライトスクール、また学童保育所などを有効に利用してほしい。

○ 志段味図書館の子供向け図書の充実、自動車図書館の増便

市内各図書館と比較しても、志段味図書館の利用状況は平均的で、蔵書の規模、内容種類とも、割合としては平均と認識している。ただ、地元からの要望として、内部の検討会等において今後の整備計画に反映していきたい。

自動車図書館については、バス2台で市内全域をカバーしており、守山区内だけでも11カ所を1か月か1か月半のサイクルで巡回しているが、滞在時間、移動時間、図書の載せ替え等からしても、現状が精一杯であることを理解してほしい。今後、バスの増車、人員の確保等ができれば、少しは改善が予想されるが、現在のところ、その計画はない。

ちなみに、公民館への自動車図書館の巡回は5月17日（火）、6月28日（火）の午後2時から3時30分の間。7月は予定なし。

○ 市街化調整区域である東谷自治会地区に公園新設

名古屋市が整備する、幼児のためのいわゆるどんぐり広場（30～700㎡）、一回り広い児童のための児童遊園地（200～700㎡）は、地元からの土地（更地で）の提供（名古屋市に無償貸与）が前提となっている。

通常の公園とは違い、これらの広場等は、地域の児童、幼児の健全育成を図る児童福祉の立場で、地域の方々と行政が協同して設置するもので、上志段味では、児童遊園地、どんぐり広場がそれぞれ1カ所設けられている。

市街化調整区域であり、自治会の所有する土地等も存在しない東谷自治会の区域においては、土地所有者の土地提供の好意に頼るしかなく、さらに、土地の提供があっても、名古屋市が定めた「管理運営要綱」に規定する様々な条件をクリアして初めて検討の対象となるため、現段階ではかなりハードルは高い。

○ 上志段味交差点から北西に伸びる道路延長先の橋の建設

平成29年3月に公表された名古屋市の「未着手都市計画道路の整備について（第2次整備プログラム）」によれば、計画存続路線として「上志段味線80m」と明記され、「令和9年3月以降に整備着手」とされています。この「80m」は、庄内川に架ける「橋」の名古屋市分を指しているようですが、春日井側の建設計画については、現在のところ全く未定とのこと。

一級河川の庄内川に橋を架ける今回の路線は、国、愛知県、名古屋市及び春日井市が複雑に絡んでいるため、足並みが揃わず具体的な計画はない。

8 その他（2）

名古屋市からの連絡で、整備優先路線である筧池の中を通る上志段味線（県道75号までの約230m）について、令和4年秋頃から工事を着手するとの連絡がありました。県道75号とT字路交差点になる部分の工事も含め、令和7年度末までの予定で工事が進められます。

隣接する自治会にあっては、資料の組回覧をお願いします。

区政委員長 西 村